



宇宙特急便



旅の途中(創業にまつわる話あれこれ)②

九州ー東京間の中ロット貨物の積合せ便を作ろうと躍起になっていたが行先も時間も大きさもと都合のいい中ロット貨物はなかなか集まらない。お金が尽きそうになり一端神奈川に戻った。今度は市川市原木にあった東京エアカーゴターミナル(TACT)の輸入航空貨物営業に的を絞る。足立区運送会社の一角を無料で借り寝袋持参で一時的な拠点にした。連絡手段はショルダー型からハンディな携帯電話を購入。通信料が高いため受信限定。それでも気分は動くオフィス。公衆電話で荷物を運んでくれそうな運送会社に依頼する。休憩はターミナル内の薄暗い階段下。ある日炎天下のターミナルを歩き回っているうちにへたり込んでしまい運送会社のトラックの冷房が効いたキャビンでひと休みさせてもらったこともあった。顧客は船社系か外資系フォワーダーが多かったように思う。新参者に対する先入観がなくずいぶん助けられた。航空便はスピード命なので通関後の品名確認、車種選定、トラック確保等素早い配車手配を心掛けた。おかげで受注ノートが埋まりなんとか目鼻がついてきた。携帯電話の登場が起業を後押ししてくれたのは間違いない。



駅前再開発と自動運転バス

小田急電鉄グループ神奈川中央交通のいすゞ自動運転バス(いすゞ大型ノンステップ路線バス「エルガ(写真)」の実証実験(レベル2/運転士同乗)の取り組みについて講演があった。

年明け早々に平塚駅南側(海側)の一角で実証実験が行われた。道路幅の比較的ゆったりしたエリアでの実験は比較的順調だったようだ。しかし、表玄関の北口は路上駐・停車が多く難題だ。駅前ロータリーはそれぞれ専用レーンを多様な車両が行きかうため課題が多い。

次世代交通網のための駅前再開発の必要性を指摘する声もあった。地域価値創造の重要なテーマになりそうだ。今のところ県内の自動運転バスの定常運行は、慶応義塾大学SFCのキャンパス内・学部間運行(車種;三菱ふそう・ローザ)に限られている。



LIGARE

引用:平塚市広報誌



誕生日おめでとう。

4日S・N
11日W・K
17日Y・S
29日K・N
30日H・Y



二十四節気

6日小暑
梅雨が明けて暑さが増す頃

22日大暑
夏の暑さが本格的になる頃

日の出 4:42
日没 18:56

今月のひとこと

戦争も飢饉も疫病もなくなる。土木・建築・農業・医学・移動手段・人とのコミュニケーション・・・世界旅行から宇宙まで、近代技術は世界を豊かにするはずだったのではないか。発達したテクノロジーは人間を落ち着かなくさせてしまった。こうして日夜追い立てられ小突き回されながら人はどこに向かうのだろう。

SPACE
EXPRESS
Co.,Ltd.

株式会社スペースエクスプレス

〒254-0014 神奈川県平塚市四之宮 1-9-45
TEL: 0463-21-5522 FAX: 0463-21-5529
<http://www.spaceexpress.co.jp>



代表取締役 河面 直